

再び危機・小魚の大量死

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

新しい年がめぐってきた。年頭の『真光寺川・里親通信』には、旧年を振り返り、来る年への希望を綴るのが恒例になっている。12月の例会で皆で話し合った。やはり5月のコイの大量死とそれに伴う「真光寺まつり」の中止が第1に上げられた。そして「まつり」を如何に復活するかが新しい年の課題とされた。まつり復活の前提は「子供たちが安心・安全に遊べる水質の保証」である。幸い秋が深まるにつれて水は澄んできた。透視度も90Cm代を記録するようになってきた。ホッと一息つく思いだった。

ところが12月28日、広袴公園の周辺に大量の小魚が死んでいるとの通報があった。思いもかけないアクシデントである。駆けつけた環境保全課の分析によると塩素系の濃度が上がっているのが認められたとのことだった。川は実に無防備で傷つき易いことを痛感した。

1月30日、「市民協働と地域活動との関わりあい」というテーマでシンポジウムが開催され、幸い「事例発表」の機会が与えられた。「子供たちが遊べる清流をめざす」ためには、地域の方々・行政との協働こそ必要なことを改めて認識した。

【11月】

2日(火) 事例発表の要請
市民協働課より1月末に開催される“まちカフェ”のシンポジウムにおいて事例発表をしてもらいたい旨要請があった。

3日(水) 野津田・丘の上まつり
快晴、今年も中村、山岡さんが、中心になって「数珠玉による昔遊び」で参加。林に囲まれた原っぱは、子供たち、親子ずれの明るい声が一杯、のどかな秋の一日を楽しむ。

10日(水) 里親通信印刷・一木会
支所で印刷・発行業務。山本、黒田、櫻井さん、夕方、魚民で一木会。山本、黒田、櫻井、岩上生江さん。1年の回顧、事例報告等を打合せ

14日(日) 清掃作業
晴、11名参加。ゴミ多い。自転車3台。内1台は持ち主に連絡し、無事返却することができた。

16日(火) 神蔵さんから取材
8月号に「真光寺川の今昔」を掲載し好評だったので、今回は「魚」についてお話を伺う。

19日(金) 鶴三小、展示会
招待状を頂いたので出かける。体育館一杯に学年別に色とりどりの展示を競っている。子供たちの才能とアイデアに改めて感心する。

25日(木) 水サンプル採集
6時、夜が白むのを待って家を出る。開戸親水

では、かるがもの群れ。広袴公園では池の中の楊に数羽の鶺鴒が留まっていた。

26日(金) 保育園長来訪
下堰親水から数十mの場所に保育園が建てられた。園長先生が訪ねてこられた。めだかポストで我々の活動を知ったそうだ。親水で園児を遊ばせ、5月には鯉のぼりを揚げたいとおっしゃる。うれしくなる。

29日(月) 自転車を引上げ
権現橋のたもとに自転車が放り込まれた。引上ることにし、山本、黒田、五条さんで作業する。

【12月】

2日(木) 和光鶴小・水生生物調査
山岡さんの指導で15時から下堰親水で実施する。子供たち、父兄が12名参加。ビニールの上に石を並べピンセットで生物を採集していく。季節が冬に入っているので流石に水生生物の数は少ない。それでも、あたりが暗くなるまで熱心に作業に取り組んだ。

9日(木) 里親通信・印刷、一木会
14時から支所で12月号を印刷、配布。山本、黒田、櫻井、野田、吉田さん。夕方、魚民で一木会。シンポジウムの内容について意見を交換する。

12日(日) 清掃作業
快晴、微風、下堰親水に魚を釣っている人が

いた。12名。水は冷たかったが小魚の群れが多く見られた。ゴミが多い。いちよう会館で打合せ。昼過ぎ解散。

15日(水) 市民協働推進課と打合せ
市民大学修了生の会の世話人と待ち合わせ“まちカフェ”のスタッフと打合せる。「展示」は3Fと4Fの可成り大きなスペースをもらえることになる。「事例発表」については当方の試案につき色々アドバイスがあった。

16日(木) 水サンプル採集
曇天、夜明けが遅い。6時40分に家を出る。広袴公園の透視度は悪く、水質の悪化は否めない。

24日(金) 鶴三小から資料を拝借
“まちカフェ”の趣旨をお話し、展示したいのでごみフェスタの資料を拝借する。子供たちの研究が16枚の模造紙にまとめられていた。

26日(日) エコネット例会で展示打合せ
“まちカフェ”で展示予定の活動状況につき具体的に打合せ、展示スペースを皆と下見する。

【1月】

6日(木) 里親通信・発行、一木会
14時から支所で印刷。“まちカフェ”配布用として200枚余分に印刷する。山本、黒田、野田吉田さん。18時から魚民で一木会、事例発表の内容等について。山本、黒田、岩上、櫻井、吉田、五条さん。



『和光鶴小・真光寺川版画』

9日(日) 片平川散策
快晴。10時に柿生駅に集合。参加者10名。世田谷街道を横断し片平川添いに歩く。川幅は広くコンクリートの三面張り、植物は生えておらず風情に乏しい。昔は周囲の田圃を潤す生活の川だったようだ。堰の石碑が数カ所に建てられている。今は住宅地に開発されて昔の面影はない。「栗平の湯」で温泉につかり乾杯し新年を祝う。

12日(水) 環境保全課訪問
山本、黒田さんと年末の「魚大量死」の原因調査の結果を聞きに伺う。塩素系の濃度が高いことが原因だったようだ。消毒剤や漂白剤の流入が考えられる。流出先は心当たりを十数カ所あたったが特定することはできなかった。今後の防止策として警告のチラシの配布等につき話し合う。

20日(木) 水サンプル採集
快晴、夜が明けのを待って6時30分に出発。朝焼けが美しい。鳥たちは朝餉の収穫に忙しそう。広袴公園、相変わらず透視度が悪いののが気になる。

21日(金) 事例発表リハーサル
スタッフと相談してフォーラムのホールで試行する。パソコンの操作は黒田さんをお願いする。20分の発表時間に対し6分余りオーバーする。

23日(日) エコネット例会でリハーサル
事例発表のリハーサルを行う。17分30秒、早口過ぎて聞き取れないと不評だった。

29日(土) “まちカフェ”で展示作業
15時からフォーラム3F、4Fで展示作業をする。和光鶴小の松井、小川先生が子供たちの作品を沢山持参される。予定の場所に張り切れない位だった。

30日(日) “まちカフェ”当日
会場は朝から押すな押すなの盛況だった。展示は3Fが20m余り、4Fも10m強、子供たちの力作が並び壮観だった。シンポジウムは13時半から大ホールで開催される。他の2団体と共に「子供たちの遊べる清流をめざして」というテーマで発表する。パネラーは鷺北副市長、牛山明大教授、鈴木福祉推進課長。協働が時代的要請であることが討議される。地元の方々も多く出席して下さる。このイベントを契機に地域、行政との絆が強化されたように感じ心強かった。(この項おわり)